

## <基本情報>

所在地：佐賀県鹿島市

## <農場概要>

- 経営面積：26ha（約3haは改植後未収穫期間中）※全面積有機栽培
- 栽培品目：柑橘類（温州みかん、レモン、ポンカン等）すもも等
- 従業員11名(代表を含む。)



## <有機農業に取り組むきっかけ>

- 慣行栽培では、自身も含め篤農家ほど農薬散布が多く薬害と思われる病気や体調不良に見まわれる実態を目の当たりにし、農家自身が健康でなければならぬと考えたこと。
- 昭和63年に全面有機栽培に転換し、有機JAS制度が始まった平成13年（2001年）から有機JAS認証を取得。

## <販売について>

- 生果は国産オーガニック専門店、生協パルシステム等に販売している。有機の引き合いは強く、注文に応じきれないほどである。インターネットで、「鹿島みかん村」としても販売している。
- 生果のほか、ジュース、ドライフルーツ、ジェラート、ジャム等の加工・販売に加え、有機レモン生石鹸も開発・販売している。



## <病害虫対策・除草対策・土づくり>

### ● 病害虫対策

「有機」表示のできる農薬として、殺菌剤のイオウフロアブル及びICボルドー66D、殺虫剤のマシン油を使用。黒点病菌の発生源の枯死枝を適確に除去し、園外で処理。

### ● 雑草対策

近年の温暖化の影響で雑草の繁殖の勢いが激しくなった影響もあり、経営面積の約半分程度で乗用草刈機乗用モアーを利用。他にはラジコン草刈機を活用するが、法面や段差地等の斜面は安全面を考慮して人力で実施。

### ● 土づくり

発酵鶏糞・豚糞や発酵させたみかんの絞りかす、枯れ草等を利用した土づくりを実施。



### <現場の課題>

- 輸送コストの高騰、JAS認証更新費用等の経費が経営を圧迫している。
- 収穫期には作業員を増員する必要があるため、最近では隙間バイトアプリを活用して労働力の確保を図っているが、パート雇用者も高齢化して人員確保が難しくなっている。

### <今後の展望>

- 近年カメムシ被害が多くなり、一部の樹園地で早生みかん（10月後半から11月収穫）が2年連続で全滅した。来年からは、カメムシ被害の大きい樹園地は、販売先のエコ栽培基準に見合う薬剤を使用した特別栽培で対応したい。

【お問合せ先】TEL.0954-62-8334

会社ホームページ <https://mikan-satou.jp/>